

「市民参加の図書館 づくりを実現したい」



ライブラリーフレンズ四日市



3 つめの居場所としての図書館

1. 自宅

最もプライベートな時間
を費やす場所



2. 職場・学校

経済活動や学習など、生
活の糧を得るための場所



3. 図書館

義務感や必要性に縛れ
ず、居心地が良いと感じ
る場所
対価を必要とせず滞在で
きる場所





ライブラリーフレンズ四日市 の活動紹介

市民のアイデアを集める



集めたアイデアを市に届ける

車イスが通れる通路
が欲しい

サウナのある
図書館

本ソムリエの配置

広い駐車場
が欲しい

音楽の演奏を聴きな
がら本を楽しめる

緑が多い図書館

図書館までの送迎バ
スが欲しい

雑談スペースが
欲しい

様々な年齢層に合わ
せたイベントの開催

カフェが欲しい

子どもと安心して
過ごせる空間

返却場所の充実



図書館フォーラムの開催



これまでの活動で**得たもの** これからの**課題点**

- ・ 図書館建設に**関心のある人が多くいる**ことを知れた
- ・ 新図書館ができるという事を**周知ができた**
- ・ 新図書館建設に**反対**の意見を伺うことができた（既存図書館の利用継続）
- ・ **意見が出せる、出してもいい感覚を市民も我々の団体も得れた**
- ・ フォーラムでは行政の方に登壇いただいたものの
協働開催とまでは行かなかった
- ・ 市民協働で進める図書館建設の**大切さが共有できていない**

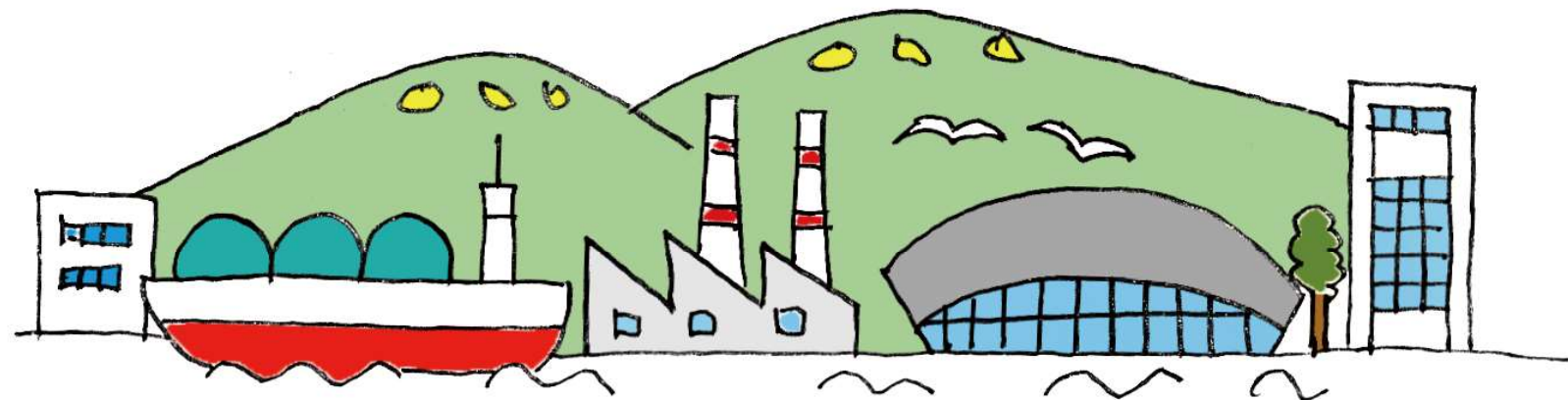
ミッション

市民参加の図書館づくり（市民協働の実践）

1 教育文化の象徴である図書館を街の顔にすること

図書館を利用するのは私たち市民。行政任せにするのではなく、どのような図書館にしたいのか、市民一人ひとりが主体的に考え、意見やアイデアを出すこと

3 多くの市民に愛され、誇りの持てる図書館にすること



提案

新図書館一緒に作ろう実行委員会

「はじめの一步」



市民

A：ライブラリーフレンズ四日市（市民代表）

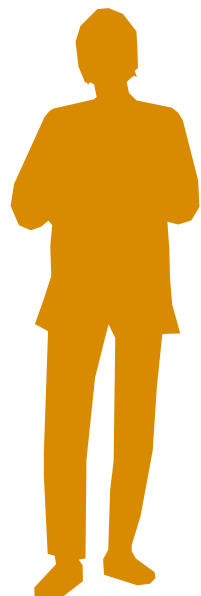
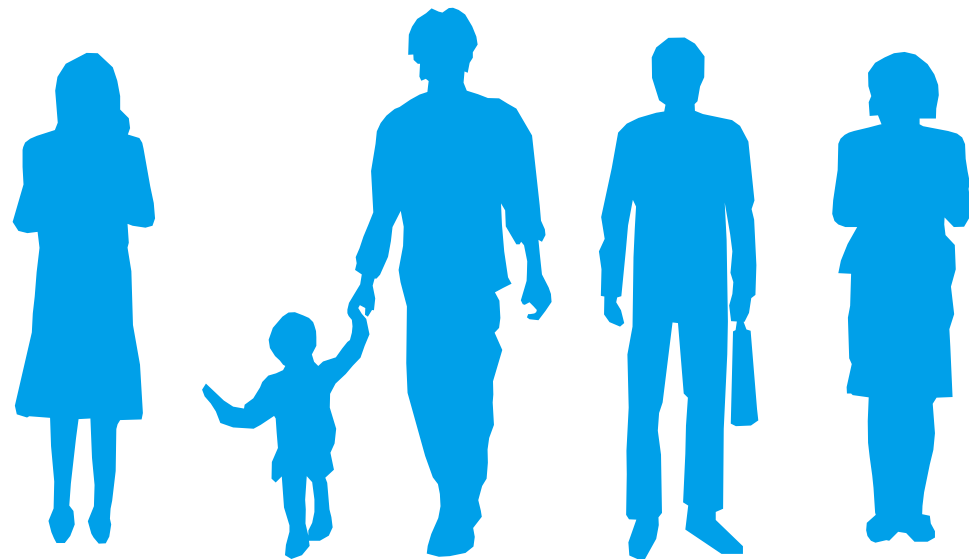
B：公募で集まった市民約50名

C：行政・専門家・図書館職員・図書館に関わるボランティア団体（市民代表）



ファシリテーター

※中立な立場で議論を進行させる役割



図書館専門家



四日市市



建築家 + 構造家

まちづくりの専門家

厳正なプロポーザルで選ばれた
設計集団

議論の流れ・市民が関わる余白

1. 市民参加で新図書館のコンセプトを決める

これからの四日市に必要な図書館とは？
イメージのかたちをつくる



2. 市民参加で新図書館に必要な空間、サービスを考える

市民にとって本当に必要な空間とは？
よりもっと便利で快適なサービスの構築



3. 新図書館完成後の運営について話し合う

もっとこうしたらよいといった改善点を話し合う
多様な市民参加イベントの企画
図書館を市民が成長させていく

「まちとしょテラソン」長野県小布施町



「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」
の理念のもとに、「交流と創造を楽しむ文化の拠点」と
なる複合施設。

町民 60 人で委員会を作り、建物の場所、設計や配置、運営、ネーミング全て民意で図書館を作ったそう。費用は 5 億。国からの補助金を当てにせず、町で 15 年ほど貯金して費用を作った。図書館の建設の話し合いに 2 年かけ、その後 3 年で建設。合計 20 年ほど費やしたとのこと。



石川県立図書館



太田市美術館図書館

岐阜市立中央図書館



松原市民松原図書館

まちの未来 は図書館に あり

本に出会い
人に出会い
まちを考え
まちの未来を
変えて行く

